



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月6日

上場会社名 アークランズ株式会社  
 コード番号 9842 URL <https://www.arclands.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (C O O) (氏名) 佐藤 好文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊野 公敏 TEL 048-610-0641  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	256,166	7.7	11,597	△8.7	11,403	△27.4	7,071	△27.4
	237,813	0.9	12,702	4.1	15,713	26.4	9,743	8.0

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 7,288百万円 (8.4%) 2025年2月期第3四半期 6,724百万円 (△33.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	113.30	-
2025年2月期第3四半期	156.40	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年2月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	347,630	127,218	36.4	2,014.75
	334,645	121,467	36.1	1,940.00

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 126,573百万円 2025年2月期 120,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2026年2月期(予想)	-	20.00	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	342,500	8.5	14,500	△10.7	14,000	△27.0	8,000	△21.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想の修正につきましては、本日(2026年1月6日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

「1株当たり当期純利益」の算定に用いた株式数は、期末日までの日数で計算した期中平均株式数であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 (社名) ペツツファーストホールディングス株式会社

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	64,733,372株	2025年2月期	64,733,372株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	1,909,953株	2025年2月期	2,434,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	62,409,277株	2025年2月期 3Q	62,301,142株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
3. その他 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日から2025年11月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の底堅さに加え、インバウンド需要の回復が観光や外食などを中心に下支えし、景気は緩やかな回復基調を維持しています。

国内の個人消費については、賃金面では持ち直しの動きがみられるものの、物価上昇の影響が続く中で、家計の実質負担感から購買行動は慎重さが残り、選別消費の傾向がみられます。

小売分野では、生活必需品の比重が高い支出は底堅い一方で、耐久消費財や裁量的支出では消費者マインドの影響を受けやすい状況です。

また、エネルギーや輸入原材料を含むコスト環境は一様ではなく、調達・物流・人件費等の負担が残る局面がみられます。加えて、為替の変動や金融環境の先行き、海外景気の下振れリスク等を背景に、消費環境やコスト環境の変化には引き続き注意を要する状況です。

このような環境下、当社グループは主力である「住・食」関連事業を深耕・発展させ、消費者の生活により近い形で網羅的な商品、サービスの提供に努めて参りました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高及び営業収入は268,196百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は11,597百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益は11,403百万円（前年の投資有価証券売却益による影響等で、前年同期比27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,071百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

### <小売事業>

小売事業の主力であるホームセンター部門においては、品目別では家庭用品及びカー・レジャー用品が堅調に推移した一方、建築関連資材・用品及びDIY関連用品、園芸用品は伸び悩みました。

リフォームサービスでは、2024年7月1日を効力発生日として実施した株式会社フレッシュハウスの完全子会社化の影響により、売上高及び営業収入は前年同期比33.6%増となりました。

また、ペット事業では、2025年6月6日を効力発生日として実施したペツツファーストホールディングス株式会社の完全子会社化の影響により、売上高及び営業収入は前年同期比42.2%増となりました。

ホームセンターの11月末の店舗数は、3月にホームセンタームサシ新発田店（新潟県新発田市）、5月にスーパー・ビバホーム茨木垣店（大阪府茨木市）、8月にホームセンタームサシ須坂店（長野県須坂市）を出店した結果、前期末から3店舗増加し142店舗となりました。

このほか、販売費及び一般管理費は、宣伝広告のデジタルシフトや物流効率化等により抑制を図り一定の効果があったものの、新規出店コスト、クレジットカード及びQR決済比率の上昇に伴う販売手数料の増加、人件費単価の上昇、水道光熱費の増加が負担となりました。

その結果、小売事業の売上高及び営業収入は208,562百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は4,446百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

なお、2025年9月～11月の既存店売上高の状況は以下のとおりであります。

小売事業における2025年9月～11月既存店売上高前年同月比推移（%）

	売上高	客数	客単価	所見
9月	96.9	94.2	102.8	前年より日曜日が1日少なかったことに加え、降雨量が多かったこと、さらに前年8月の南海トラフ臨時情報に伴う防災関連需要の反動減が継続し、マイナス要因として影響しました。
10月	100.2	95.4	105.1	前年より気温が低かったことを背景に、季節品は好調に推移しました。
11月	100.5	97.2	103.5	前年より休日が2日多かった（勤労感謝の日の曜日差（今年：平日／前年：土曜）で休日が+1日、日曜日も+1日）ことに加え、ムサン店舗では除雪関連を中心に季節品が好調に推移しました。

## &lt;卸売事業&gt;

卸売事業におきましては、原価率の上昇により売上総利益率が低下し、加えて人件費をはじめとするオペレーションコストの増加もあった結果、売上高及び営業収入は3,042百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は388百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

## &lt;外食事業&gt;

外食事業における主力のとんかつ専門店「かつや」（国内）におきましては、店舗のDX化の推進に加え、12回のフェアメニューと2回のキャンペーンを実施いたしました。その結果、1～9月における直営店の既存店売上高前年比は103.3%と好調に推移いたしました。出退店につきましては、直営店3店舗、FC店8店舗の出店により、9月末の店舗数は前期末から純増11店舗の502店舗となりました。

からやま・からあげ縁（国内）につきましては、9回のフェアメニューと2回のキャンペーンを実施いたしました。出退店につきましては、直営店3店舗の出店、FC店2店舗の出店、FC店4店舗の閉店により9月末の店舗数は純増1店舗の156店舗となりました。

また、コスト面においては、原材料価格の高騰に伴う原価率の上昇に加え、水道光熱費の増加もあり、利益を圧迫する要因となりました。

以上の結果、売上高及び営業収入は44,815百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は3,917百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

## &lt;不動産事業&gt;

当社の不動産事業は、主に当社が開発した店舗のテナント賃料を収入源としています。

これらの店舗には、核として当社が運営するホームセンターが出店しており、家電量販店、スーパーマーケット等のテナントを誘致し併設することで、相互送客の効果が生まれ、安定した収益を確保しつつ、店舗の集客力を向上させています。

当第3四半期連結累計期間においては前年10月に開業したアーツスクエア湘南平塚、今年5月に開業したアーツスクエア茨木、8月に開業したアーツスクエア須坂の影響により、売上高及び営業収入は10,937百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は2,656百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

## &lt;その他&gt;

その他にはフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」7店舗を含んでおります。売上高及び営業収入は839百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は82百万円（前年同期比63.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して12,984百万円増加し、347,630百万円となりました。これは主に既存店の底地売却により土地が17,724百万円減少した一方で、商品及び製品が5,431百万円増加したほか、新規出店およびペツツファーストホールディングス株式会社の完全子会社化に伴い、建物及び構築物が13,863百万円、のれんが4,604百万円、受取手形及び売掛金が4,463百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比較して7,233百万円増加し、220,411百万円となりました。これは主に買掛金及び電子記録債務が7,123百万円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比較して5,751百万円増加し、127,218百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が4,529百万円増加、2025年10月3日に実施した第三者割当による自己株式処分を主因に自己株式（控除項目）が705百万円減少（控除額が縮小）したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2026年1月6日に公表いたしました業績予想に修正いたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	18,053	19,351
受取手形及び売掛金	10,912	15,375
商品及び製品	52,741	58,172
その他	5,568	6,990
貸倒引当金	△37	△147
流动資産合計	87,237	99,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,490	110,353
土地	62,924	45,199
リース資産（純額）	17,217	17,011
その他（純額）	8,557	5,541
有形固定資産合計	185,189	178,106
無形固定資産		
のれん	16,096	20,701
商標権	7,433	7,099
その他	7,291	7,670
無形固定資産合計	30,821	35,471
投資その他の資産		
投資有価証券	2,785	3,143
敷金及び保証金	24,746	25,368
その他	3,910	5,857
貸倒引当金	△45	△60
投資その他の資産合計	31,396	34,309
固定資産合計	247,407	247,887
資産合計	334,645	347,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	32,706	40,632
電子記録債務	9,798	8,996
短期借入金	28,800	38,444
1年内返済予定の長期借入金	26,004	9,996
1年内償還予定の社債	100	-
リース債務	1,708	1,791
未払法人税等	3,532	4,847
賞与引当金	1,954	3,167
株主優待引当金	276	166
役員退職慰労引当金	180	-
契約負債	635	1,128
資産除去債務	-	1
その他	14,794	15,841
<b>流動負債合計</b>	<b>120,491</b>	<b>125,013</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	42,014	47,027
リース債務	22,980	22,526
長期預り保証金	15,359	15,890
退職給付に係る負債	427	438
資産除去債務	5,737	6,336
その他	6,167	3,177
<b>固定負債合計</b>	<b>92,686</b>	<b>95,398</b>
<b>負債合計</b>	<b>213,178</b>	<b>220,411</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	11,312	11,605
利益剰余金	106,285	110,815
自己株式	△3,276	△2,570
<b>株主資本合計</b>	<b>120,784</b>	<b>126,313</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	198	342
為替換算調整勘定	△124	△141
繰延ヘッジ損益	-	58
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>74</b>	<b>259</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>607</b>	<b>645</b>
<b>純資産合計</b>	<b>121,467</b>	<b>127,218</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>334,645</b>	<b>347,630</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	237,813	256,166
売上原価	148,876	158,624
売上総利益	88,936	97,541
営業収入		
賃貸収入	10,915	11,819
その他	216	211
営業総利益	100,069	109,571
販売費及び一般管理費	87,367	97,974
営業利益	12,702	11,597
営業外収益		
受取利息	36	51
受取配当金	237	17
仕入割引	69	48
投資有価証券売却益	2,442	-
為替差益	14	79
持分法による投資利益	172	103
その他	958	529
営業外収益合計	3,932	829
営業外費用		
支払利息	897	815
その他	22	208
営業外費用合計	920	1,023
経常利益	15,713	11,403
特別利益		
固定資産売却益	4	665
特別利益合計	4	665
特別損失		
固定資産除却損	94	148
店舗閉鎖損失	302	172
解体撤去費用	87	103
貸倒引当金繰入額	81	-
その他	116	51
特別損失合計	683	476
税金等調整前四半期純利益	15,035	11,591
法人税、住民税及び事業税	5,474	7,658
法人税等調整額	△233	△3,168
法人税等合計	5,241	4,489
四半期純利益	9,793	7,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,743	7,071

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	9,793	7,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,086	143
為替換算調整勘定	16	△12
繰延ヘッジ損益	–	58
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△3
その他の包括利益合計	△3,068	186
四半期包括利益	6,724	7,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,674	7,256
非支配株主に係る四半期包括利益	49	32

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	8,135百万円	8,996百万円
のれんの償却額	1,156	1,455

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

第2四半期連結会計期間において、ペツツファーストホールディングス株式会社の株式を100%取得したことにより、同社及び同社の子会社（7社）を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年3月1日 至2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益 (注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	193,703	3,429	40,754	10,301	248,189	756	-	248,945
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	4	4,786	-	1,412	6,203	-	△6,203	-
計	193,708	8,215	40,754	11,713	254,392	756	△6,203	248,945
セグメント利益	5,025	496	4,339	2,572	12,434	50	217	12,702

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。
3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2025年3月1日 至2025年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益 (注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	208,562	3,042	44,815	10,937	267,357	839	-	268,196
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	4	5,181	-	1,496	6,682	-	△6,682	-
計	208,566	8,223	44,815	12,433	274,039	839	△6,682	268,196
セグメント利益	4,446	388	3,917	2,656	11,409	82	105	11,597

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」セグメントにおいて、ペツツファーストホールディングス株式会社の株式を取得したことにより、第2四半期連結会計期間にのれんが36,023百万円発生しています。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. その他

## 事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)		増減		(参考) 2025年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	3,429	1.4	3,042	1.1	△386	△11.3	4,426	1.3
小売事業	193,703	77.8	208,562	77.8	14,858	7.7	255,270	77.1
ホームセンター部門	186,773	75.0	198,801	74.1	12,027	6.4	246,251	74.4
建築関連資材・用品及びD I Y関連用品	64,151	25.8	63,573	23.7	△577	△0.9	83,152	25.1
リフォームサービス	12,142	4.9	16,221	6.0	4,079	33.6	17,951	5.4
家庭用品	54,621	21.9	54,765	20.4	144	0.3	73,650	22.2
カー・レジャー用品	18,636	7.5	19,334	7.2	697	3.7	24,764	7.5
園芸用品	18,001	7.2	17,782	6.6	△219	△1.2	21,415	6.5
ペット	18,017	7.2	25,620	9.6	7,602	42.2	23,689	7.2
その他	1,202	0.5	1,503	0.6	300	25.0	1,627	0.5
その他小売部門	6,930	2.8	9,760	3.7	2,830	40.8	9,018	2.7
外食事業	40,754	16.4	44,815	16.7	4,060	10.0	56,145	17.0
不動産事業	10,301	4.1	10,937	4.1	635	6.2	14,104	4.3
その他	756	0.3	839	0.3	83	11.0	1,018	0.3
連結営業収益	248,945	100.0	268,196	100.0	19,251	7.7	330,964	100.0

(注) 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。